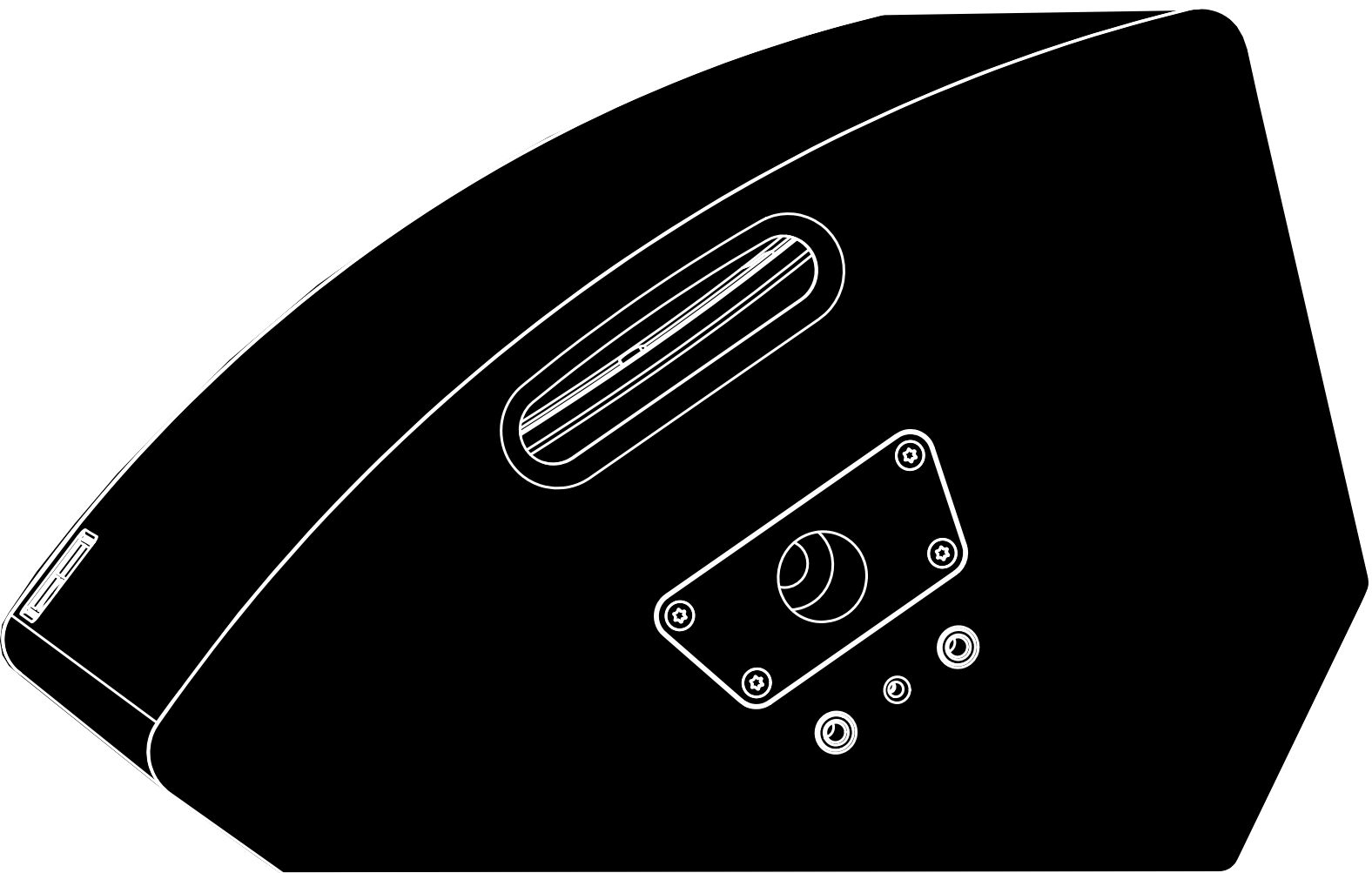


# M

MAX2  
マニュアル 1.2 ja



## 概説

MAX2 マニュアル

バージョン 1.2 ja, 03/2016, D2987.JP .01

Copyright © 2016 by d&b audiotechnik GmbH & Co. KG; all rights reserved.

**本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。**

本説明書の最新版が発行されていないか、d&b ウェブサイトで定期的にチェックされることをお勧めします。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b 製品を販売される時は、お客様に対して本マニュアルを使用前に十分読んでおくことを喚起してください。必要なマニュアルは製品に同梱されています。もし追加のマニュアルが必要な場合には、d&b に注文してください。

d&b audiotechnik GmbH & Co. KG  
Eugen-Adolff-Str. 134, D-71522 Backnang,  
T +49-7191-9669-0, F +49-7191-95 00 00

# 目次

<b>1</b>	<b>安全上の注意</b> .....	<b>4</b>
1.1	ラウドスピーカーを使用する際の注意点.....	4
<b>2</b>	<b>MAX2 ラウドスピーカー</b> .....	<b>5</b>
2.1	製品説明.....	5
2.2	接続.....	5
2.3	使用.....	6
2.3.1	コントローラーの設定.....	6
2.4	指向特性.....	7
2.5	技術仕様.....	8
<b>3</b>	<b>製造者宣言</b> .....	<b>9</b>
3.1	ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)	9
3.1.1	WEEE 宣言 (廃棄について) .....	9

## 1.1 ラウドスピーカーを使用する際の注意点

### 人体に傷害をもたらす可能性があります。

大音量で駆動しているラウドスピーカーのすぐそばには決して近寄らないでください。業務用ラウドスピーカーシステムは、人間の健康に害を及ぼす音圧レベルまで到達する性能を持っています。危険でないと思われる音量(約 95 dB SPL 以下)であっても、長時間さらされていると難聴の原因となる恐れがあります。

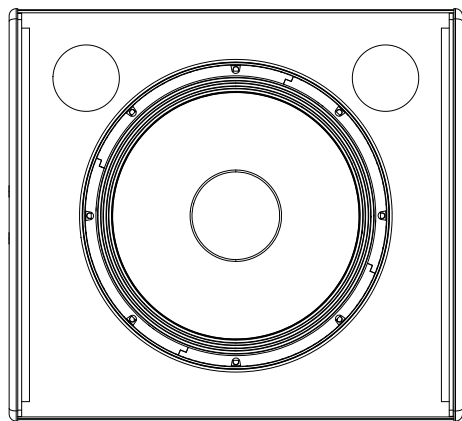
ラウドスピーカーを地面に積んだり、吊り下げたりする作業を行う時の事項に注意してください。

- ラウドスピーカーをスタックしたりスピーカースタンドを設置する時は必ず硬い床面上に設置してください。複数のシステムを積み重ねる場合は、動かないようにストラップで固定してください。
- 仮設置やスピーカーの構成設置に使用するアクセサリは d&b が試験、認証している物のみを使用します。特に弊社アクセサリに関連する機種に対応した「使用説明書」や「フライング、リギングマニュアル」に記載されているアクセサリの正しい使用方法と最大荷重量に注意してください。
- 固定設備や可動設置使用で d&b 以外の付加的なハードウェアを使用して固定、結束等を行う場合には、全ての該当品が適切なサイズか、安全荷重係数を満たしているかを確認してください。ご使用になる製品の製造者からの取り扱い説明書や安全に関わるガイドラインを必ず参照してください。
- ラウドスピーカーの外観やアクセサリは、目につく磨耗や破損の兆候がないかを定期的に点検し、必要であれば交換してください。
- 機器の荷重を支持するボルトは定期的に点検を行ってください。

### 機器の故障を引き起こす恐れがあります。

ラウドスピーカーは使用していない時でも静的電磁場を常に発生します。従って、これらを設置したり、運搬したりする時にはこの磁場によって、損傷や障害を生じる恐れのあるものが機器の近くに無いことを確認してください。一般的には磁気データ媒体(フロッピーディスク、オーディオおよびビデオテープ、キャッシュカードなど)から 0.5 m (1.5 ft) の間隔があれば十分です。コンピューターやビデオモニターでは、1 m (3 ft) 以上の間隔が必要な場合もあります。

## 2 MAX2 ラウドスピーカー



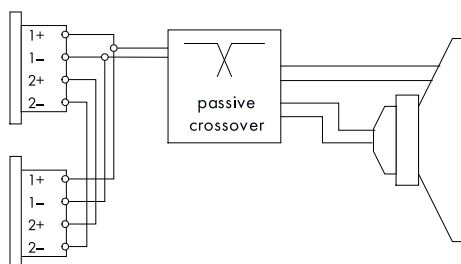
### 2.1 製品説明

MAX2 は、15 インチ/1.4 インチ同軸ドライバーとパッシブクロスオーバーを採用した 2 ウェイステージモニターです。このドライバー設計がコンパクトで低めのキャビネットの使用を可能としています。

単体マグネットアッセンブリーを共有し、同軸マウントされた 1.4 インチ HF コンプレッションドライバーと 15 インチ LF ドライバーが、75°の定指向 HF 拡散を可能とする非常にコンパクトなドライバーを形成しています。

55 Hz から 20 kHz の周波数特性を有するこの MAX2 はフルレンジシステムとして使用したり、Y-SUB、V-SUB、もしくは B6-SUB などの異なる d&b サブウーファーで補完したりすることが可能です。

キャビネットは船舶用合板製で耐衝撃塗装仕上げとなっています。ラウドスピーカーキャビネット 前面は、音響透過性のある発泡フォームを裏側に貼りつけた頑丈なメタルグリルで保護されています。パネルの両側にはハンドルが付いています。4 個の M10 ネジ穴が装備されており、様々なリギングデバイスやブラケットへの接続が可能になっています。ラウドスピーカースタンドを固定するため、パネルの片側にポールマウントが取り付けられています。底面パネルに 2 箇所あるランナーは、キャビネットが動いたり、底面が傷ついたりすることを防止します。



コネクターの接続

### 2.2 接続

キャビネットには NLT4 F/M コネクタが取り付けられています。双方のコネクタの全 4 本のピンは並列に接続されています。キャビネットは 1+/1- のピン配列を使用します。2+/2- ピンはアクティブサブウーファー用です。オス型コネクタをインプットとして使用すれば、メス型コネクタと第 2 キャビネットを直接接続することができます。

同キャビネットは、オプションで NL4 または EP5 コネクタを選択することも可能です。

コネクタオプションのピン配列は下の表に示しています。

NLT4 F/M NL4	1+	1-	2+	2-	なし
EP5	1	2	3	4	5

## 2.3 使用

### 注意!

d&b ラウドスピーカーは、正しく設定された d&b アンプのみをご使用ください。他の使用法ではラウドスピーカーのコンポーネントに損傷を与える恐れがあります。

### 使用可能な d&b アンプ:

D80/D20/D12/D6/10D/30D.

MAX2 は、他にも 8 オームで 800W (ピーク) 以下を供給でき、付加的なサブソニックフィルター (25 Hz、12 dB/オクターブ 以上) を備えている他の高品質リニアパワーアンプで駆動することも可能です。この条件を満たしていない製品を使用した場合にはスピーカーの構成部品を破損する恐れがあります。

用途	設定プ	チャンネル/キャビネット
MAX2	MAX2	2

本機種に対応する d&b アンプでの機種設定はデュアルチャンネル、Mix TOP/SUB モード時に選択が可能です。

MAX2 キャビネットは、他にも対応する d&b アンプにある LINEAR 設定を選択して使用することもできます。しかしながら MAX2 設定はステージモニターとして使用する際のヘッドルームと性能向上のため MAX2 専用ローエンドのイコライザーやリミッター設定を適用しています。

### 2.3.1 コントローラーの設定

音響特性を調整するためには、CUT、HFA そして CPL 機能が選択できます。

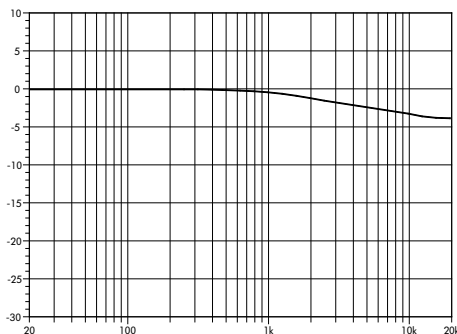
#### CUT 回路

CUT に設定では、カットオフ周波数 130 Hz のハイパスフィルターがコントローラーの信号経路に挿入されます。これにより MAX2 は、アクティブ駆動の d&b サブウーファーと組み合わせて使えるように設定されます。

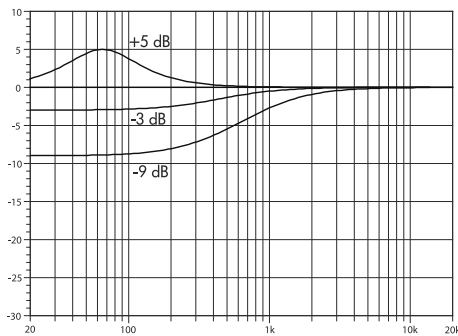
#### HFA 回路

HFA (高域減衰) モードではシステムの高周波数特性は、ロールオフします。HFA 回路は、ラウドスピーカーが聴衆に近接したニアフィールドに設置される時やディレイ用途の場合、自然で均一な周波数特性を提供します。

高域の減衰は 1 kHz から徐々に始まり、10 kHz でおよそ 3 dB 減衰します。このなだらかな減衰は、残響が多い空間や客席でシステムから離れて音を聴くときに体感する周波数特性の変化とよく似ています。



HFA 回路の補正周波数特性



CPL 回路の補正周波数特性

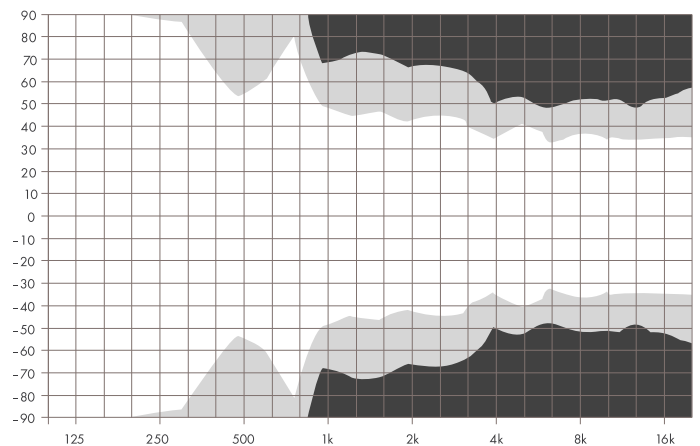
### CPL 回路

CPL (カップリング : Coupling) 回路は、キャビネットが近接する時や床や壁面に密接したり、ステージモニターとして床に置く場合に生じるカップリングの影響を補正します。CPL はおよそ 1 kHz から徐々に減衰が始まり、400 Hz 以下で最大の減衰がかかります。バランスのとれた周波数特性を提供するため、CPL 回路を-9 から 0 の間の dB 単位の減衰値に設定することができます。

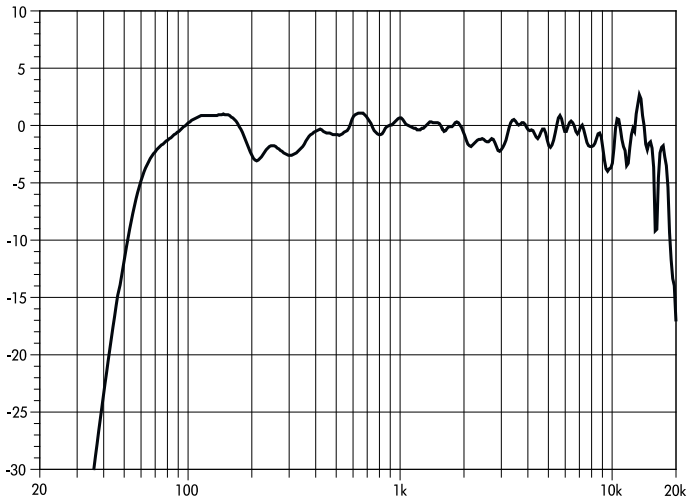
CPL 値をプラス数値 (0 ~ +5 dB) にすると、低域を盛り上げることができます。この数値は、システムをサブウーファーを使用しないフルレンジモードで使用する際に設定できます。

### 2.4 指向特性

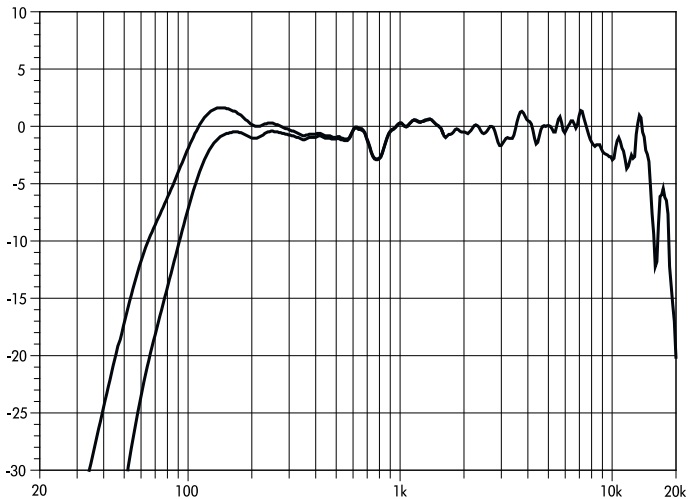
同軸ドライバー設計の円錐状の拡散パターンによって、MAX2 の水平・垂直指向特性はほぼ同じとなっています (この若干の際は、キャビネットの形状によって生じます)。下のグラフに周波数における指向角度を-6 dB および -12 dB の音圧を線に置き換えた等圧線 (アイソバー) で表示しています。公称 75° の指向角度は 1 kHz から 16 kHz に維持されます。



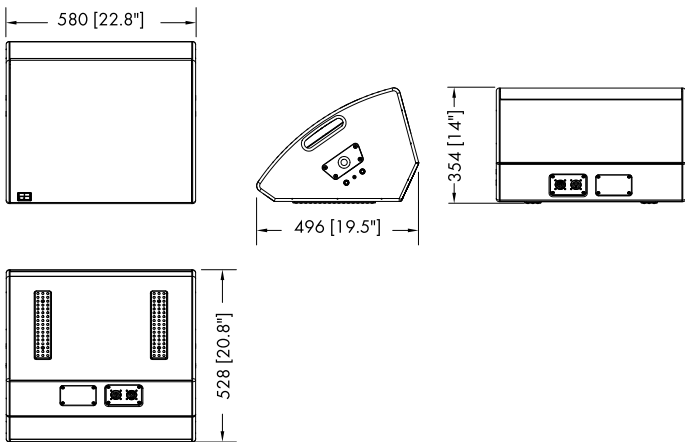
アイソバーグラフ



MAX2 周波数特性 (MAX2 設定、フロア設置時、スタンダード)



MAX2 周波数特性 (リニア設定、無響音場)、スタンダードおよび CUT



MAX2 キャビネット寸法 mm [インチ]

## 2.5 技術仕様

### MAX2 システムデータ

周波数特性 (-5 dB スタンダード)	.....55 Hz - 20 kHz
周波数特性 (-5 dB CUT モード)	.....90 Hz - 20 kHz
最大音圧レベル(1 m、無響音場)	.....
および D6/10D	.....131 dB
および D80/D20/D12/30D	.....135 dB
.....	.....(最大 SPL ピーク、テスト信号 CF4 のピンクノイズ)

### MAX2 ラウドスピーカー

公称インピーダンス	.....8 Ω
許容入力 (RMS/ピーク 10 ms)	.....250/1600 W
公称指向角度 (円錐状)	.....75°
コンポーネント	.....15 インチ LF ドライバー (フェライト磁性体)
.....	.....1.4 インチ スロットコンプレッションドライバー
.....	.....パッシブクロスオーバーネットワーク
接続	.....NLT4 F/M
.....	.....2 x NL4 または EP5 (オプション)
ピン配列	.....NLT4 F/M および NL4:1+/1-
.....	.....EP5:1: + / 2: -
重量	.....23 kg (50 lb)





#### 3.1 ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)

この宣言は、以下の製品に適用されます。

##### **d&b Z1120 MAX2 ラウドスピーカー、**

製造者 d&b audiotechnik GmbH & Co. KG

この番号で始まる製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気技術的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が全て関係条項の EC 指令条項に準拠していることを宣言いたします。

この宣言に関わる詳細な情報は、d&b に注文頂くかウェブサイト [www.dbaudio.com](http://www.dbaudio.com) からダウンロードすることもできます。

##### **3.1.1 WEEE 宣言 (廃棄について)**

電気及び電子機器を廃棄する際は、必ず他のゴミと分別してください。

本機器を廃棄する時には、お住まいの国や地域の関連する法律や条例に従ってください。廃棄の際に不明な点がある時は、お買い上げの販売店、または d&b audiotechnik までお問い合わせください。

WEEE-Reg.-Nr. DE: 13421928

